

科目名	人体の構造と機能及び疾病			担当教員	吉田 琢哉、蔵冨 恵、成田 絵吏	
単位	1単位	講義区分	講義		ナンバリング	
期待される学修成果	教科教育 子ども理解					
アクティブラーニングの要素	ディスカッション、ディベート					
実務経験	臨床心理士、公認心理師（成田）					
実務経験を生かした授業内容	臨床心理士、公認心理師としての勤務の経験を活かし、医療領域における支援、心理的支援が特に求められる疾患について講義する（成田）。					
到達目標及びテーマ	公認心理師の基礎知識として、1. 心身機能、身体構造および様々な疾病と障害、2. 心理的支援が必要な主な疾患、について理解し、説明できる能力を取得する。					
授業の概要	保健医療の領域について幅広い知識が得られるように、人の発達と加齢、人体の解剖学・生理学、代表的な疾病や障害、リハビリテーション、国際生活機能分類、保健医療対策の概要など、医学一般について学ぶ。【デジタル技術利用 該当番号：①、⑧】					

授業計画	
第1回	医学総論（吉田）
第2回	人体の構造と機能（蔵冨）
第3回	心に関わる統合器官系（蔵冨）
第4回	発達と疾患（成田）
第5回	内科疾患と整形外科疾患（吉田）
第6回	精神疾患の理解（成田）
第7回	緩和ケアとリハビリテーション医療（吉田）
第8回	授業全体の総括と学習到達度の確認試験

事前学修		医学領域においては、はじめて聞く言葉も多いため、必ずその日の講義内容について学習を進めておくこと。
事後学修		復習により疑問点を残さない。疑問が生じた場合は質問すること。
フィードバックの方法	授業終盤に振り返りシートへの記入を求め、質問があった場合にはその場で回答する。	

成績評価方法		割合（％）	評価基準等
定期試験		0%	実施しない
上記以外の試験・平常点評価		100%	授業内で課す小課題への取り組み（30%）および確認試験の点数（70%）により評価する。
補足事項	本授業は前期の後半8週に開講する。システム上の制約から「隔週偶数」開講と表示されているが、間違えないように注意すること。欠席回数が3回以上となった場合（全8回の3分の1超）、期末試験の受験資格を失う。		

教科書				
書名	著者	出版社	ISBN	備考
教科書は使用しない。資料を適宜配布する。	なし	なし	なし	なし
参考資料	講義時に適宜資料配布、文献を紹介する。			